



志保大より

第286号

須恵町シニアクラブ連合会 令和5年7月発行



主な内容

頁

- 若杉クラブ行事紹介
(粕屋地区高齢者安全運転競技会) 2
(第1回高齢者学級) 3~4
(郡シ連GG 大会予選会) 4~5
(新旧役員研修旅行) 5~7
- 地区クラブ紹介 (西原若草会B) 8
- クラブ活動紹介 (パソコン教室) 8~9
- 会員のひろば (須恵福寿会) 9~10
- 医療施設等紹介
(まつお内科クリニック) 10
- 九十路に生きる 11
- 会員訃報 11
- 編集後記 12
- スナップでみる活動 12

表紙写真について

鳥 名：セッカ

撮影地：大分県九重町

ウグイスの仲間、大きさはメジロくらいの小さな鳥です。普段は草原に棲んでいる鳥ですが、稲穂が実る時期になると田んぼの上空を飛んでいるところを見かけることがあります。

写真の鳥は九重の飯田高原そばにある水田公園でハナショウブが満開のころ、運よく花にとまってくれたところを撮影したものです。
(写真・文：上杉和稔)

若杉クラブ諸行事紹介

5月8日以降、春の行楽地や街中が賑わいを取り戻していく中、若杉クラブでは、各種研修会の参加や健康づくり、生きがいづくりの活動を展開しています。このコラムでは、4月5日の定期総会以降の事業について順を追って紹介します。なお、4月16日（日）の春期歩こう会は悪天候のために中止しました。開催を心待ちにしておられた皆さんは残念だったと思います。因みに昨年の参加者は約180人でした。

セーフティドライブに参加

新原シニアクラブ会長

原野 武広

5月16日（火）、「粕屋地区シルバーセーフティ・ドライビングコンテスト（高齢者安全運転競技

会）」が、粕屋地区の63名が参加して「アイルモータースクール博多の森」で行われました。若杉クラブ出場当番の新原シニアクラブは、

蔵田勇機（81才、運転歴60年間）、北山貞雄（79才、運転歴53年間）、原野武広（78才、運転歴66年間）、駒山悦章（75才、運転歴50年間）の4名が出場しました。

（写真左から出場した、原野、駒山、蔵田、北山さんです）



アイル自動車学校長の挨拶があり、「高齢者の事故の大半が交差点での安全確認ミスが原因である。交差点での安全確認を励行する」とことを強調されました。その後は講習説明と職員の紹介があり、早速講習開始です。

最初は〇×式の学科講習です。テストが終わると、次は、乗車走行講習です。安全確認からのスタート、坂道停車と発進、スラローム、車庫入れ、踏切での一旦停止安全確認、35キロ走行、カーブでの鉄板踏み、左折時の巻き込み注意等々。

また、試験の間にはゴーグルを装着してのVR仮想現実による飲酒運転の体験がありました。飲酒運転がいかに危険な犯罪行為であるかを思い知らされました。その他、自動ブレーキ車運転もあり貴重な体験もしました。

競技終了後は、学科講習と乗車講習の最優秀者の発表があり、そのあと講評がありました。

近年高齢者の運転ミスが原因の死亡事故が増加しており、五月よ

り道路交通法の改正で、過去三年間に違反歴のある75歳以上の人は、高齢者講習と認知機能検査に加え運転技能検査（実車試験）が必要となりました。

若杉クラブの皆さん！高齢者の私達が安全運転マナーの模範を示し、交通事故ゼロへ向け元気に頑張りました。安全確認よし！

（写真左は、シニア用電動カートに試乗する私と、見物する駒山、北山、武田さんです。）



第二回高齢者学級開催

教養部会長 中嶋 三記夫

5月17日(水)、10時よりアザレアホール須恵の大ホールで会員183名が出席し、高齢者学級開講式並びに第1回高齢者学級を開催しました。高齢者学級に先立ち、令和5年度高齢者学級開講式を行い、合屋会長が式辞を述べましたので紹介します。

■式辞

若杉クラブの高齢者学級は「会員の生きがいづくりとなる学習機会を提供すると共に、学習の成果や豊富な経験を地域に活かすきっかけとする」という先輩諸氏の思いを引き継いでいる講座です。

昨年度の高齢者学級には延べ700人程の皆さんが出席されましたが、皆さんの学習意欲の高さには感服する次第です。今年度の第1回高齢者学級は、町長のお話を聞くことにしていますが、これも先輩諸

氏の思いを引き継いでいます。さらに、第2回は社会的問題になっている「ニセ電話詐欺根絶に向けて」を、第3回は健康づくりの「オーラルフレイル予防」を学習する予定です。



若杉クラブ合屋会長 式辞を述べる

ところで、新一万円札に描かれている有名な実業家の渋沢栄一翁には「40才、50才は洩(はな)たれ小僧、60才、70才は働き盛り、90才になって迎えが来たら、100才まで待てと追い返せ」という名言があります。ポストコロナと言われるこれからは、渋沢栄一翁の名言を肝に銘じ、大いに学習し、いきいきと行動したいものです。

■第1回高齢者学級講演の概要

平松須恵町長の講演は、演題の「続編政治について」熱弁をふるわれました。

(講演の要約その一)

平松町長は、町長就任以来「今後、町の財政をどうしていくのか」にひたすら努力をしてきたと語られました。須恵町の高齢者対策、子育て等々の財源確保の難しさをわかり易く話され、私もよく理解できました。財源確保には「事業をやらねばならない」との話では、スエノバを創り始動した時にコロナが蔓延。事業がでなくなりましたが「稼ぐ力」は必ずいるとの信念のもと、その年の『ふるさと納税』へ参画しようと、副町長をトップに事業を展開、七億五千万円の純利益を上げたとの話には大いに感動しました。

(講演の要約その二)

コロナ禍に国の補助金を使うにあたって、皆さんに喜んでもらうには、商品券が適当であるという考えで、65才以上の人たちに五千元、さらに七千円商品券を配布し

たとのことでした。

(講演の要約その三)

財源確保の事業は、北海道夕張市の観光事業失敗を例にあげ、観光事業はやりすぎたりがあるので手をだすべきではない、さらに、いずれふるさと応援寄付金(ふるさと納税)はすたれていくので、なくなるまでコツコツ貯えていきたいと、持論を展開されました。今、四十一億円の貯金があったが、今の人たちにだけでなく、これからの人たちのためにも使っていくこと。私の仕事は『つなぐ』ですとの言葉には、深く共感しました。



平松須恵町長 熱弁をふるわれる

(次頁へ続く)

(講演の要約その四)

町長として、県会議員、国会議員などとのつながりを大切にし、その中で「須恵町の利益や、発展のためならなんでもやる」との決意のもと、全力で突っ走り、現実の結果を出してこられたと話されました。また、次の世代にもっと政治と須恵町に目を向けてもらいたいとの願望とともに、平松町長自身、次世代も楽しめる町づくりに頑張っていきたいと抱負を語られました。約60分間の話しを締めくくられました。平松町長の活躍に期待したいと思った講演でした。

郡シ連GG大会予選会

若杉クラブ副会長

川上 正俊

そもそも、GG(グラウンドゴルフ)は、約40年前、鳥取県のある村の教育委員会が生涯スポーツ推進事業の位置づけで考案された

もので、現在は子どもから大人まで、幅広く楽しめるスポーツとなっており、ゴルフと同様に、打数を競うスポーツで「クラブ」「ボール」「スタートマット」「ホールポスト」を用意し、グラウンドや広場で手軽に競技できるものです。現在ではグラウンドゴルフ愛好者は全国で三百六十万人もおられるそうです。

さあ、我が町の郡シ連GG大会予選会は、5月22日(月)、健康広場で行いました。まずまずの天候に恵まれて、当初88名のエントリーがありました。79名での競技会となりました。前回一チームの人員構成を男女ほぼ均等という指摘がありましたので要望通りの組合せとしました。

午前7時より、山口晋一郎長を中心とした若杉クラブグラウンドゴルフ部の皆さん、健康推進部会員皆さんが16ホールの特設コースを作ったおかげでスムーズに競技ができたのではないかと思っています。若杉クラブグラウンドゴルフ部の皆さんには成績表の集計までし

ていただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。また、当日はたいした事故もトラブルもなく無事終了できたのは皆さんのご協力の賜物だと感謝致しております。なお、当日はケーブルステーション福岡の取材があり、皆さんの奮闘ぶりやインタビュー等が放映されました。皆さんはご覧になりましたか。

■予選会成績(上位二十位)

数字は総打数、総打数が同じの場合は2打数が多い方が上位、同数の場合は年齢が上の方が上位です。()は分館名です

- 優勝 合屋 吉広 79(一番田)
- 準優勝 川端恵美子 80(甲植木)
- 三位 梅月昭太郎 81(新原)
- 四位 添田 泰子 81(須恵)
- 五位 植 紘之 82(乙植木)
- 六位 大林 清一 82(新原)
- 七位 村山 好江 83(上須恵)
- 八位 勝田 和昭 83(新原)
- 九位 蔵座美千代 84(上須恵)
- 十位 山口 晋一 85(須恵)
- 十一位 中野 清二 85(上須恵)

(次頁に続く)



医療法人

須恵 医院

内科 小児科 院長 岡 泰正

〒811-2114 福岡県粕屋郡須恵町上須恵 787-1

TEL (092) 932-0458



医療法人 須恵中央眼科

粕屋郡須恵町大字旅石 58-3

TEL 092-609-9666

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~17:30	○	○	△	○	○	—

△水曜日の午後は手術日となっております。

土曜日は12:00まで診療

休診：日曜・祝日 HP:suetyuouganka.net

十二位 横山 明美 86(佐谷)
 十三位 広瀬 勝利 86(新原)
 十四位 藤木 正利 86(乙植木)
 十五位 谷口 巖 87(城山)
 十六位 迫屋 銀 87(甲植木)
 十七位 堀内 節生 87(一番田)
 十八位 今村 友房 87(大島原)
 十九位 塩屋 典男 88(昭穂)
 二十位 藤 絹枝 88(旅石)

(写真中央が優勝した合屋吉広さん、右が準優勝の川端恵美子さん、左が三位の梅月昭太郎さん)



なお、六位大林清一さん、十二位横山明美さんが郡シ連大会出場を辞退されましたので、十六位迫屋銀さん、十七位堀内節生さんが代わりに出場されます。選手皆さんの奮戦を期待します。

新旧役員研修旅行

〜鶴戸神宮と飢肥城址を巡る〜

研修部会長 駒山 悦章

令和5年度新旧役員研修は5月25日(木)から26日(金)にかけて、宮崎県日南地方を巡る旅行を実施。一日目、二日目とも好天気
 に恵まれ、一行32名は有意義な研修ができました。

今回の研修旅行は、九州道から宮崎道、この3月に開通した東九州道の清武南〜日南北郷を駆け抜ける往復約700kmの長丁場でしたが、熊本県と宮崎県に跨る九州山地を走破することで九州山地自動車道のトンネルの知識も習得することができました。

九州道、宮崎道トンネル走破の豆知識と車窓越しの景色

午前9時に地域活性化センターを大型観光バスで出発。一路人吉ICに向かいました。八代ICから人吉ICまでは、九州山地を通

るため、長さ6kmを超える肥後トンネルを含め23ものトンネルが連続。車窓から垣間みる球磨川の滔々(とうとう)とした流れと美しい緑の渓谷に気持ちしが和み、連続したトンネルをかけ抜けるバスの旅も楽しいものでした。



九州道最大の鬼門である肥後トンネルの入口



車窓から見え隠れした球磨川の滔々とした流れ

人吉で少し遅めの昼食を済ませ(次頁に続く)

介護のことなど お気軽に相談ください

[特別養護老人ホーム 恵昭園]
 [アネックス 恵昭園]
 上須恵 112-3 須恵町コミュニティバス「恵昭園前」下車
 ☎933-1600

[老人保健施設 若杉の里]
 上須恵 112-79 須恵町コミュニティバス「佐谷河原」下車
 ☎933-1630

「さりげなく喜び」「さりげなく温もり」「さりげなく幸せ」を
 たしかに感じることができる生活を支援します

社会福祉法人 恵徳会

内科・リハビリテーション・療養型病床群179床

医療法人 成雅会 **泰平病院** 院長 堤 康雅

福岡県粕屋郡須恵町大字新原 14-7
 ☎(092) 932-5881 ㊟(092) 934-0045

介護老人保健施設 永寿苑 ☎(092) 933-5335
 認知症高齢者グループホーム 陽だまりの丘 ☎(092) 957-9595
 小規模多機能ホーム ぬくもりの里 ☎(092) 957-6080
 = 関連施設 =
 配食サービス事業 暖らん便泰平 ☎(092) 933-2790
 介護付有料老人ホーム よかよかの郷 ☎(092) 957-0230

た後、バスは九州道えびのJCTから宮崎道に入り熊本県と宮崎県にある加久藤（かくとう）トンネル（全長6.2km）を通りました。このトンネルを抜けると韓国岳を含む霧島連山の絶景を車窓から観ることができました。

因みに日本の高速道のトンネルランキングでは、8位が肥後トンネル（熊本県八代市から同県球磨郡）、9位が加久藤トンネル（熊本県人吉市宮崎県えびの市）です。

■伝説の鵜戸神宮を参拝

1. 鵜戸神宮の由来

鵜戸神宮の創祀は第十代崇神天皇の御世と伝えられています。その後延暦元年（782）に天台宗の僧・光喜坊快久が勅命により社殿を整備し寺院を建立、「鵜戸山大権現吾平山仁王護国寺（うどさんだいごんげんあびらさんにんのうごこくじ）」の勅額を賜りました。当時は、神道と仏教が結びついた神仏習合という思想が一般的で、神社で読経を行ったり、寺院の僧侶が神社を管理していました。

鵜戸神宮も神仏習合の神社で、

のちに真言宗に改宗し「西の高野」と讃えられて盛観を極めました。明治の神仏分離によって仏教色が廃されて鵜戸神社となり、その後、官幣大社鵜戸神宮に昇格されました。現在でも日本民族の祖神誕生の聖地として多くの参拝者で賑っています。

2. 海幸山幸の伝説（神話）

昔々、わが国の祖神・天照大御神の曾孫にあたる海幸彦・山幸彦の兄弟がいました。ある時山幸彦は兄の海幸彦の代わりに海で暮らすことになり、海神の娘である豊玉姫命（トヨタマヒメ）と結ばれます。やがて豊玉姫命は身籠り、山幸彦を追って日南海岸のウドの地を選び産屋を建てました。しかし、屋根を鵜の羽で葺き終わらないうちにお生まれになられたので、御子は、日子波瀲武鸕草葺不合尊（ひこなぎさたけうがやふきあえずのみこと）と命名されました。この伝説の地に建っているのが鵜戸神宮で、海に向かった洞窟の中にあり、昔から縁結びや子授け、安産などの御利益で人々の信仰を

集めてきました。

参拝では、楼門を抜けると、右に左にと緩やかなカーブが続き、二つの太鼓橋の先の延々と続く階段を下りてお参りしました。皆さんの感想は「疲れました！」のひと言でした（笑い）。



洞窟に鎮座する鵜戸神宮本殿

■モアイ像見学（サンメッセ日南）

モアイ広場には、世界で唯一、南米チリのイースター島（約1000体のモアイ像が散らばっている太平洋に浮かぶ島）から正式に許可された7体のモアイ像「アフ・アキビ」が海沿いに建っていました。モアイ像は向かって左から、仕事（次頁に続く）

前川泌尿器科腎臓内科

〒811-2244 粕屋郡志免町志免中央3-6-22

☎092-410-6728

診療時間（日・祝休診）

時間	月	火	水	木	金	土
午前9～12時	●	●	●	●	●	●
午後2時～6時	●	●	△	●	●	△

月・火・木・金…最終受付17:30 水・土…最終受付11:30
（お問い合わせ、ご予約は受付時間内にお電話ください）

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団正信会 水戸病院

TEL092-935-3755

内科(呼吸器・循環器・消化器・肝臓・糖尿病・脂質代謝・内分泌・神経・老年) 小児科、アレルギー科、リハビリテーション科、臨床検査科、禁煙外来、物忘れ外来、各種検診(生活習慣病・胃がん・大腸がん・肺がん・肝臓がん・骨粗しょう症)、各種指導/相談

介護老人保健施設 ニューライフ須恵 ☎ 937-1055
あすなろ訪問看護・ヘルパーステーション ☎ 936-9653
居宅介護支援事業所 ケアワイド21 ☎ 957-3321
須恵町在宅介護支援センター ☎ 937-0255
住宅型有料老人ホーム コンフォート須恵 ☎ 935-3850
コンフォート須恵デイサービスセンター ☎ 935-3850

運、健康運、恋愛運、全体運、結婚運、金運、学力運となっていて、モアイ像にタッチすると願いが叶うとされています。



背後の太平洋上の遙か15000kmの彼方にイースター島があります

青島温泉宿泊

宿泊した「ホテル青島サンクマール」は太平洋と青島が一望できる岬に建つホテル。目の前に青島の名勝として知られる波状岩の「鬼の洗濯板」を見ることができました。疲れ癒す効能のある温泉につかった後に懇親会を開催。コロナ5類移行もあり、久しぶりにカラオケと余興三昧の楽しい懇親会となりました。また、副町長をはじめ町当局幹部の方々にもご出席いただき懇親を深めました。

ジャカラランダ見学(道の駅南郷)

二日目の行程です。訪れた宮崎県日南市南郷町「道の駅なんごう」では、「ジャカラランダまつり」が開催されていました。付近には約100本のジャカラランダが綺麗な青紫の花をつけていましたが、皆さんは圧倒的な花数で咲く姿に魅了されました。



道の駅南郷のジャカラランダは満開、マンゴージュースも美味でした

飢肥(おび) 城址見学

飢肥は天正16年(1588)から明治初期まで280年間、飢肥藩・伊東氏5万1千石の城下町として栄えました。武家屋敷を象徴する門構え、風情ある石垣が残る町並みは昭和52年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



樹齢100年の飢肥杉を使用して復元された飢肥城大手門

昭和53年に復元された大手門を中心に、松尾の丸や藩校振徳堂、伊東家の歴史を綴る貴重な資料が展示されている飢肥城歴史資料館で飢肥藩280年の歴史を学びました。また、江戸時代を彷彿させる町並みは、樽を店頭に置いた商家や、格子に壁燈籠、番傘を飾った商家が軒を連ね、町を流れる堀割の清流など、風情を感じることができた城下町でした。

その後、昼食を済ませ帰路につき、無事須恵に帰着しました。今回の研修旅行は長丁場でしたが、極めて価値のある研修ができたと思っています。皆さんのご協力に感謝いたします。

①①①

太田整形外科

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

須恵町役場ソバ ☎ 932-8877
(アザレアホール横)

株式会社 **かすや 葬祭部**

福岡県粕屋郡粕屋町大字大隈1229番地
TEL(092) 938-2868 (24時間) FAX(092) 938-0811

やすらぎ 会館

かすや斎場 粕屋郡粕屋町大字戸原325-2 TEL(092) 931-3533
すえ斎場 粕屋郡須恵町大字旅石20-1 TEL(092) 937-4311
こが斎場 古賀市川原1542-2 TEL(092) 944-6511

24時間営業・年中無休でご奉仕させていただきます。

お問い合わせ(かすや葬祭) ナクハナイチレイ
フリーダイヤル **0120-798710**

地区クラブ紹介

資源回収は交流の場

西原若草会B会長

平島 誠一

西原若草会Bを紹介します。年間の活動は、西原若草会Aと合同で行う毎月開催の幹事会、月例会、親睦旅行（日帰り）、若杉クラブや地域の行事の参加などがあります。会員は19名です。

活動の中で、資源回収は西原若草会Aと西原若草会B（以下本会）がそれぞれで行い、本会は年間3回行います。因みに西原若草会Aは5回です。

本会は、旧飛越集会所横に保管庫が設置され、近所の人や年中いつでも持って来られるようになっていきます。保管庫まで持って来られない人達には、資源回収日を「若草会活動予定」でお知らせすることとで自宅前に出してもらおうようにしています。

回収日当日は、早朝8時から本

会役員さん達が車で集めて回りまです。集めたアルミ缶やダンボール等は資源回収に参加した会員さん達によって分別され、回収業者のトラックに積み込まれます。10時前には作業終了です。

本会の資源回収には役員さんをはじめ多くの会員の皆さんが参加してくれませんが、恰好の会員の交流の場にもなっています。

クラブ活動紹介

パソコンを通してシニア

の生活を豊かにしよう

若杉クラブパソコン教室

講師 佐伯 隆也

若杉クラブパソコン教室は、パソコンやスマホなどのデジタル機器を学びたいシニアのためのサークルです。一般のパソコン教室に通うよりも気軽に参加でき、仲間と一緒に楽しく学べます。シニア

がシニアに教えあうことで、互いの理解を深め、生きがいや交流を広げることができます。

若杉クラブパソコン教室（以下本教室）では、ワードやエクセルなどの基本的なソフトから、インターネットやメール、写真や動画、年賀状やホームページ作成の応用的な内容まで幅広く学ぶことができます。本教室は、月に二回程度の活動をしています。例会では、講師や補助の指導のもと、テキストや映像教材を使って学習したり、実際にパソコンやスマホを操作したりします。また自分の興味や悩みに合わせて、個別に相談したり、グループで話し合ったりします。さらに、作品展展のイベントもあります。ここでは、パソコン以外の話題を交えて、仲間と親しく交流したりします。

また、パソコンだけでなく、スマホやタブレットなどのデジタル機器も学ぶことができます。スマホやタブレットは、パソコンよりも持ち運びやすく、操作も簡単です。（次頁に続く）

歯科・小児歯科

木下歯科医院

丁寧な説明を心がけています
お口のこと、何でもご相談下さい
須恵町新原424-4（新原バス停そば）

☎ 934-2022

受付時間 平日 AM 9:00～12:15
PM 2:00～6:30
土曜 AM 9:00～PM 1:30
往診、時間等お問い合わせください
休診日 日曜日・祝祭日

受付時間

月	火	水	木	金	土	
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	●	手術	●	●	△

休診・・・日曜・祝祭日



田原眼科

粕屋郡志免町志免2丁目2番33号
TEL (092) 935-0112

LINEやメールで家族や友人と連絡を取ったり、写真や動画を撮影したり共有したり、インターネットで情報を検索したり、乗物などの予約をしたりすることができまます。スマホやタブレットの基本的な使い方から、便利なアプリの紹介や設定方法まで、丁寧に講習します。本教室は一般のパソコン教室と違って会員同士が支えあって学ぶ場です。だからこそ、自分のペースで学べるだけでなく、他人のペースにも配慮できるようなります。また、自分の知識や経験を他人に伝えることで、自信や達成感も得られます。本教室は、パソコンを通して、シニアの人生を豊かにするサークルです。ぜひ一度お越しください。
(写真は若杉クラブパソコン教室の受講スナップです)



会員のひろば

多様な活動に取り組み

須恵福寿会 井上 韶男

福寿会の活動は、毎月10日は、須恵寶満宮の掃除をしています。特に若葉がでる4月は、古い葉が落ちて広いブルーシート2枚の上に山ができるほどで、時間もかかるし、なかなか終わりません。みんな協力して、一生懸命にガンバッテもっています。そして掃除が終わったら定例会をしています。福寿会、若杉クラブの予定を報告し、質問を受けています。

毎月1回「室内ペタンク」を須恵公民館で行っています。古くなった公民館の床は、平らに見えてもいろいろな所がでこぼこです。投げた、ボールが何処に転がるかわからず、残念がったり大喜びしたり、大騒ぎしながらみんな楽しんでます。

また、福寿会には、グラウンドゴルフ部、コーラス部、和太鼓部があります。グラウンドゴルフ部は週2回、須恵寶満宮で大木の根っこや石のあるコースでプレーを楽しんでいます。夏場の暑い時は木々の枝葉のおかげでとても涼しいそうです。さて、5月22日(月)に行われた郡シ連グラウンドゴルフ大会若杉クラブ予選会では、福寿会から2名の会員が15位内に入賞されました。須恵寶満宮コースで鍛えられたせいかも知れませんが、(感謝)。

コーラス部は月2回、和太鼓は週1回、須恵区公民館で活動を行っています。大きい声で歌ったり、思いきり太鼓をたたいたり、チーム、メンバーで合わせたり協力したりしています。

これらの活動では、音符を見たりすることから高齢者にとっては脳が活性化し、頭の体操になります。また、須恵区福祉会「ミニデイサービス・紫の会」が、年5回と12月には「ふれあいもちつき大会」(次頁に続く)



社会医療法人 青洲会 青洲会クリニック

診療科 内科 外科 整形外科 泌尿器科
腎臓内科(人工透析)リハビリ科

企業健診 個人健診 日帰りドック

訪問診療 訪問看護 訪問リハビリ

看護小規模多機能型居宅介護「青洲のあかり」
居宅介護支援事業所「ケアサポートS」
青洲会クリニック 通所リハビリ
青洲会クリニック デイサービスセンター 併設

住所：糟屋郡志免町志免4丁目1-7 TEL：092-937-0422

財団法人日本医療機能評価機構
長期療養病院認定医療機関

医療法人 みなみ

粕屋南病院



●内科 ●腎臓内科 ●人工透析内科 ●循環器内科 ●消化器内科
●糖尿病・代謝内科 ●リハビリテーション科 ●歯科

口みなみ介護支援センター

口粕屋南訪問看護ステーション

福岡県粕屋郡宇美町神武原

6丁目2番7号

TEL (092) 933-7171(代)

上須恵、一番田、城山経由の
巡回バスを運行しています。

ご入院等のご相談は
フリーダイヤル

0120-862-373

を行います。福寿会の多くの皆さんさんが参加しており、とても感謝しています。今後は、令和5年6月に例会を、11月には日帰り旅行、令和6年1月に新年会を計画しています。会員のみなさんと協力をして「生きがいと健康づくり」に取り組んでいきたいと思っております。



室内ペタンクを楽しむ須恵福寿会の皆さん

医療施設等紹介

まつお内科クリニック

院長 松尾 昌俊

二〇二二年五月一三日に須恵町

に開院致しました。コロナ禍で混乱している中での開院だった為、内覧会も中止し皆様に当院を知って頂く機会を作ることができませんでした。ですが、開院当初から多くの患者様にご来院頂いております。今回は当院の特色を紹介致します。

私はこれまで循環器疾患の診療に従事してきました。心筋梗塞や狭心症、不整脈、心不全などの専門的な分野を中心に様々な治療を行ってきました。

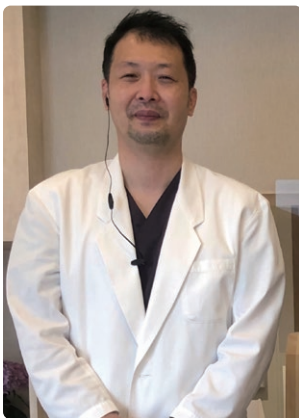
当院では幅広い医療を提供できるように、院内の検査機器も多く揃えております。レントゲン、血液解析装置、心電図検査、エコー検査、呼吸器疾患の方にも対応できるように呼吸機能検査、喘息の検査などの機器も揃えております。健康上のお悩みがあれば一度お気軽にご相談ください。

また、当院にはリハビリテーション科があります。現在は一名の理学療法士が在籍しております。運動器リハビリテーションはもちろんですが心臓リハビリテー

ション指導士、呼吸療法認定士、心不療養指導士などの資格を保有しております。総合病院での経験を活かし患者様の状態に合わせて最適な治療を提供いたします。

開院以来、地域の方や患者様から温かい言葉をかけて頂き大変感謝しております。地域に根付いた質の高い医療を提供できるようにスタッフと何度も話し合いを重ねてきました。

さらに、患者様に満足していただけよう、スタッフ一同精進してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



松尾院長

「まつお内科クリニック」様は、令和5年度から「老健たより」に広告を掲載して頂くことになりました。まことにありがとうございます。(広報部会注釈)



まつお内科クリニック

循環器内科・リハビリテーション科

☎ 410-2220

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	★
14:00~18:00	●	●	△	●	●	△

★…9:00~13:00まで ※受付終了は30分前です

休診日

日曜日・祝日

お問い合わせは診療時間内をお願い致します

内科・小児科・循環器科・消化器科・呼吸器科

千鳥橋病院附属

須恵診療所

所長 岩下 早苗

須恵町大字新原232-1 (JR新原駅前)

☎ 934-0011

FAX 934-0014

九十路をまきる

乙植木楽しみ会

稲永 美智子さん 88歳



「八十八年の歩み」

私は昭和十年十一月三日、志免町別府で生まれ、六人兄妹で育ちました。父は軍人で満州に出征していったので、母と二人の兄、私の四人で暮らしていました。

小学二年生の時に戦争が始まり、空襲警報におびえながら防空壕へ避難する日々でした。母と長男は農作業、私は家事手伝いをしてながら助けあって生活しました。終戦となり、しばらくして父が

復員し、やっと普通の生活ができるようになり、家族も増え八人家族で暮らしていました。

高校卒業後、博多大丸に勤めていました。昭和三十四年、二十四才の時須恵町本合に嫁いできました。翌年長男が生まれ、子育てをしながら働いていました。

その後、長女が生まれたので、十五年間働いていた大丸を退職しました。その後、しばらく家事、育児に専念していましたが、知人の紹介で須恵町平原の「リックス」(山田興産)で働いていました。

主人は中学校の教員をしており、土日もなく部活動や生徒指導をしていましたので、両親の全面的なサポートのおかげで仕事をすることができました。その両親も年を重ね介護が必要な状況となり、十六年勤めたリックスを、五十一才の時退職しました。

それからは、介護に追われる毎日でしたが父は七十八才で他界し、母は七年間の病院生活を送り九十八才で他界しました。

子育てと両親の介護を終えて少し時間の余裕ができたので、手芸教室や紙粘土による人形作り、生花、わくわくデイサロン等に参加して多くの友人と楽しい時間を過ごしています。

今年で結婚して六十四年になります。山あり谷ありで、色々苦労もありましたが、楽しいこともたくさんありました。主人も九十二才を迎え、「あまり身体の自由が利かなくなり、同期の方々も逝去され一人になったと淋しがつていきます。これからも主人を支え、孫五人、ひ孫二人の成長を楽しみにゆつくりとした時間を過ごしていきたいと思います。

地域の皆様には大変お世話になります。これからも家族に支えられながら、感謝の気持ちを忘れず、心穏やかに過ごしていきたいと思っています。

会員訃報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

城山野間 孝思様 87歳 令和5年4月11日

恵西桑原 靖男様 79歳 令和5年4月16日

乙植木 秋竹 絹江様 95歳 令和5年4月25日

西原立石 敏治様 82歳 令和5年5月24日

旅石三角 正次様 90歳 令和5年6月3日

編集後記

3年にわたり猛威を振り私たちの生活と健康を脅かし続けてきた新型コロナウイルスも、5月8日をもつて感染症法の分類がインフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。その後、日本各地はコロナ前の活気に戻ってきたような感じ

(次頁に続く)



がしています。

このような中、創立60周年を迎えた若杉クラブ(以下本会)は「のばそう!健康寿命を、担おう!地域づくり」をメインテーマに「健康づくり」や「生きがいづくり」「支え合いづくり」「地域づくり」など多彩な取り組みを展開しています。そして、この取り組みをおし「地域共生社会(住民が支え合いながら安心して暮らせる地域)」の実現に向けて「ともに楽しみ、支え合い、喜びを分かち合う仲間がいる場所づくり」をめざしています。本会の今後の発展のため、会員増強を図るとともに、本会や単位クラブの活動には積極的に参加したいものです。
(藤)

広報紙 老俱たより 第二百八十六号
発行日 令和五年七月四日
発行所 須恵町シニアクラブ連合会
須恵町上須恵一六七一三
須恵町社会福祉センター内
TEL〇九二(九三三)二二六〇
発行人 合屋 浩寿
編集 広報部 印刷所 大道印刷

スナップでみる活動のあれこれ

7月号では下記のスナップを掲載し活動を振り返ります。参加した人たちはあらためて思いを巡らせていただければと思います。

若杉クラブ高齢者学級開講式&第1回高齢者学級 令和5年5月17日(水)



受付を担当する若杉クラブ
女性部の皆さん



講演中の平松町長
後ろは横断幕と懸垂幕



会場のアザレアホール
須恵大ホール客席の様子

郡シ連グラウンドゴルフ大会若杉クラブ予選会 令和5年5月22日(月)



柴田健康推部会員の指導で行う
開会式のラジオ体操



最高齢出場者(93才)
米岡節子さんのショット



健康広場の特設ホールで
元気にプレーする出場者

若杉クラブ新旧役員旅行 令和5年5月25日(木)~26日(金)



加久藤トンネルを抜けて
霧島連山の絶景を望む



七つの願いが叶うモアイ像に
タッチしての記念写真



日本近代外交の基礎を築いた飢肥
出身の小村寿太郎の記念館